令和８年第２回帯広市公営企業経営審議会　議事録（概要）

日　時　：令和８年９月２日（水）14 時 00 分～15 時 22 分

場　所　：ソネビル　６階　講習会室

出席者　：（委　　員）秋山委員、窪田委員、小暮委員、櫻井委員、塩澤委員、杉本委員、羽田野委員、廣田委員、干場委員、松本委員、宮本委員、山根委員、吉村委員（13 名）

（事 務 局）倉口公営企業管理者、広沢上下水道部長、澤口経営室長、唯野技術室長、内藤総務課主幹、清水水道課場長、高間下水道課長、嵯峨総務課長補佐、熊野水道課長補佐、西端総務課財務係長、守山主任、遠藤主任補（12 名）

（傍聴者等）報道関係者（１名）

１　開会	
２　委員・職員紹介	
３　挨拶	倉口管理者より挨拶
４　議事	委員 15 名のうち出席 12 名で過半数に達したため、審議会が成立している旨報告。 （１） 令和７年度決算状況について 事務局より、資料１「令和７年度決算の概要」に沿って説明。 その後、委員より事前に頂戴していた質問について回答。 ＜質疑応答＞
委員	自動車税の支払いなどの請求書にはQR コード決済や振込などもありますが、少し割高になると知っていても還元を考えてクレジット払いの方が良いという場合もあると思います。自分の職場でのお話ですけれど、クレジット払いでいろいろ引き落としにすると、携帯一つで明細が見られて資産を把握しやすいというメリットがあると多くの方が言っています。また、他の職種の方と話してみると、仕事の都合で他市から転勤してきて、しばらく滞在したら戻るという方も帯広市には多くいらっしゃいました。そういう方からすると、現在の引き落とし口座は割と帯広市に根ざした信金とかが多く、みずほ銀行とゆうちょ銀行ぐらいしか全国的なところの引き落としがないため、そこに不便さを覚えているという意見が非常に多いです。

手数料に関しては、クレジットカード会社による還元や、明細が一括になることなど、クレジット払いにすることによるメリットを感じる人がいるのであれば、100 円でも 200 円でも上乗せで取ってもいいのではないかと考えています。一般市民の目で全貌把握できてないかもしれないですけれど、意見としてはそのようなところです。

事務局　決済手数料について、先ほどは帯広市が手数料を全て負担するという形で、かかる費用等についてご説明させていただきましたけれども、委員のお話では、手数料を自己負担したとしてもそれ以上のメリットが得られる可能性があるという内容だったかと思います。また、明細の管理や還元のお話等もいただきました。皆さんの口座や資産管理のために、帯広市が手数料を負担するというのはなかなか難しいと思いますけれども、手数料は自己負担でもいいというお話になるのであれば、今後も調査研究していく必要性があると感じました。

委員　全国的な口座がみずほ銀行とゆうちょ銀行だけでは厳しいと思っていまして、引き落としでもいいですけれども、三菱 UFJ 銀行とかもう少し門戸を広くした方がいいとはずっと思っているところであります。

事務局　帯広市全体の話なのですが、基本的には帯広市の中に本支店がある金融機関、いわゆる市中銀行と呼んでいるのですけれども、そこから口座振替をしていただく形になっております。いわゆるネット銀行といったものの対応はしていないのですが、そのようなところも今後調査研究をしていかなければならないとは考えております。

また、今回につきましてはクレジットカードの継続払いということでお話させていただきましたが、実は国の動きで、都度払いにはなりますがクレジットカードでも支払いができる eLTAX という地方税ポータルシステムにて、支払える科目の中に上下水道料金が入ってくる形になってきます。システムの利用料などの関係も出てきますけれども、そういったものを活用しながらクレジットカードを使っていけるようになど、今後調査研究を続けていきたいと思います。

委員　下水の雨水管整備ですけれども、ビジョンの実績値が 74.5%で、前年対比がプラス 0.3 ポイントということで、令和 11 年の目標値までにこのままだと届くのか届かないのか不明だなと思うところです。物価上昇もありますので、この辺をどういうふうに捉えたらいいかを教えていただければと

思います。

事務局　現在目標に向かって計画通りに進んではございますが、当然物価高騰を要因として工事以外にも費用がかかるということは想定されております。一応、その辺りに関しては実情に合った積算も必要だと思いますので、状況を見ながら適切に対応していきたいと思っております。

事務局　補足になりますが、ビジョンの計画値より 0.1 ポイント低くなっていることにつきまして、工事の都合でポイントが下がっております。物価高騰などもありますけれども、その中で効率的な仕事のやり方とかを考えまして、令和 11 年度までに 76.3%、これをキープできるように取組を進めてまいりたいと考えております。

委員　簡易水道事業の有収率は 69.81%ということで、7 ポイントって結構大きいのではないかという思いがあって資料を拝見したのですけれども、漏水がかなり多くなっているというように思いましたが、こちらの方はもう修繕されたという理解でよろしいでしょうか。

事務局　おっしゃるとおり修繕等は終えております。ただ、管も古くなってきているので、今後も漏水が起こる可能性がありますことから、点検や修繕を行ってまいりたいと思います。

委員　簡易水道事業は、もともと漏水がかなり多いような印象を受けたのですが、テレビカメラ調査を入れてもなかなか見つかりにくいということでしょうか。

事務局　水道管は、水が常に満水の状態で管の中を流れているものですから、テレビカメラ調査ができません。そのため、流量計や水圧計といったもので 24 時間 365 日監視しておりまして、流量や圧力の変化が生じたところで漏水したかを点検するという手法をとっております。

委員　簡易水道事業のところですが、令和 7 年度で年間総配水量が 68 万 9,000 ㎥という水を配水しているということに対し、収水量が 48 万 1,000 ㎥ということは、この差分が漏水等ということですよね。配管はおそらく幹線道路などに通っていると思いますが、漏水して道路が陥没するなどの話がよくあるものですから、結構な割合で漏水しているのは少し信じがたいとい

う思いです。あまりにも漏水の割合が高いので、メーターがついていない水道があるのではないかなど考えたりして、前回もそのような説明だったと思いますが、ずっとそこが疑問です。

事務局　すべてが漏水というわけではありません。配った水の５％につきましては、メーターが感知できない水という不感水量のことで、有収率が最初から100％になることがないような計算になっております。そのため、まず５％分は減っておりまして、それが去年の分でいうと３万 4,000 ㎥ほどあるという形になっております。

また、簡易水道地区の配水管につきましては、畑の下を通っていることも結構ありまして、なかなか地表に水が出てこず、下の方に流れていて見つからないということもございます。そのような状況もありまして、なかなか市街地ほど有収率が上がってない状況でございます。

委員　下水道事業の収支において、雨水処理に関わる費用は一般会計で負担するとあるのですが、足りない部分を補填するためと思っていたのですけれども、これはもともと予算をとっているという理解でよろしいですか。

事務局　雨水処理に係る費用につきましては、全額一般会計、つまり公費負担となっておりますので、予算の段階からそのように措置をしてございます。

（２）上下水道料金収納業務等包括委託に係るモニタリング結果について

事務局より、資料２「年度終了時のモニタリング結果」に沿って説明。

＜質疑応答＞

委員　目標収納率にて、基本料金免除の実施の影響もあるとのことですが、目標値は免除を考慮せずに設定し、実績は免除があったからこのような結果となったということでよろしいでしょうか。

事務局　目標収納率ですが、基本料金免除を含まない形で過去３か年の平均などを使ってもとめています。そのため、今回については基本料金免除を行ったことにより、目標との乖離が出てしまったということです。

委員　　わかりました。どのぐらい免除しているかというのは金額でわかるかと思うので、その分加味すれば目標は大体達成しているのかなという認識でよろしいでしょうか。

事務局　　はい。

委員　　業務従事者への給与支払いという項目がありましたけれども、給与については遅滞なく支払われているというのは当然かと思うのですけれども、昨今の物価上昇等を踏まえた賃上げ等についてはどのように確認されているのか、教えていただければと思います。

事務局　　昨今の物価高騰等によりまして、人件費や光熱費等の上昇ということがございます。帯広市では、いわゆる物価高騰等のリスク分担をどのようにするかということで、事前に帯広市と受託者の間で、契約書の中に相互協議して決めるというようなことを記載しております。それとは別に帯広市全体として、この物価高騰による人件費等の上昇に向けどう対応していくかという決まりがございまして、私ども公営企業の方も準じて計算をしてきてございます。つきましては９月の市議会にて、リスク分担の上昇分を補正予算という形で提案をさせていただきまして、議会で可決されましたら、そちらの方を実施してまいりたいと考えてございます。

委員　　賃上げについてはよくわかったのですが、残業時間とかの調査はされているのでしょうか。職員はタイムカード制なのかお聞きしたいです。

事務局　　市としては、残業時間という部分につきましては把握してございません。ただ、勤務時間の把握としまして、受託者としてはタイムカードを使って時間管理をしてございます。

委員　　収納率に関してなのですが、この収納率という言葉が経済用語なのであれば少し理解がずれているかもしれないですけど、10％ぐらい未納者がいるということでしょうか。

事務局　　はい。例えばですが 10 人の方がいて、それぞれ料金が１万円だったとします。１人が滞納すると 90％になるというような形です。

委員　　これは金額ベースということですか。

事務局　　そうです。これは３月末の収納率になっていまして、５月や６月になりますとだいぶその率も改善してきます。５月末には 95%を超えて収納率は上がってきます。

委員　　３月から５月には何があるのでしょうか。

事務局　　例えば２月の水道料金があったとすると、納期限が３月末になります。期限までにお支払いいただける方もいらっしゃれば、少し遅れて３月末から４月中のお支払いになってしまう方もいます。その分はこの３月末現在の収納率にはカウントされないため、やはり少し収納率が低くなってしまうという形になります。

委員　　ということは、期限内の収納が大体はできているということでしょうか。

事務局　　そういうことになります。

（３）その他

事務局より、次回の帯広市公営企業経営審議会は令和８年２月下旬に開催を予定している旨報告。

５　閉会